

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	CAD・CG制作
科目基礎情報				
開設学科	建築学科	コース名		開設期 後期
対象年次	4年次	科目区分	必修	時間数 60時間
単位数	2単位	授業形態	実習	
教科書/教材	必要な資料は適宜配布する			
担当教員情報				
担当教員	根本毅、村田祐希	実務経験の有無・職種	有・建築設計	
学習目的				
デジタルスキルの向上とBIM的思考を深め、各々が取り組む卒業制作において、調査、検証、検討、制作、表現、アーカイブに至るまでの一貫した制作活動を良質なものとし、これからの業界で生き抜くスキルを習得することを学習の目的とする。				
到達目標				
スキルの向上のみを目的とせず、活かせる力としてデジタルに向き合う事を学習の目標とし、次の3点を到達目標とする。 ①各自のプロジェクトにおいて、デジタルスキルの活用方法を理解できる。 ②デジタルスキルを活用し、各自が抱える課題を解決することができる。 ③デジタルを活用した独自の表現ができる。				
教育方法等				
授業概要	スキルを追求するだけでなく、各自が活用方法を独自の視点から考える事を促しながら進めていく。その上で、小論文、スキル復習、高度スキルに対する講義を展開していく。業界で活躍する人物からの課題に挑むことでより実践的な感覚を身に付け、活かしたスキルへと転換し、卒業制作においての実践に取り組む。			
注意点	取り組んでいる事の目的を理解し、高い習得意識を維持すること。欠席しないことを心掛け、授業時間数4分の3以上出席しない者は、単位を認定しない。日本工学院 授業心得を守ること。			
評価方法	種別	割合	備考	
	成果物	40%	提出課題を総合的に評価する	
	成果発表	40%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する	
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	デジタル概論	現在の社会で使われている技術や近未来の技術について理解する。		
2回	BIM研究①	デジタル普及による業界変化について、独自の視点でテーマを設定することができる。		
3回	BIM研究②	デジタル普及による業界変化について、独自の視点で事例調査や展開を設定することができる。		
4回	BIM研究③	デジタル普及による業界変化について、独自の視点で小論文をまとめることができる。		
5回	BIM復習	環境シミュレーションや環境の基本設定等を確認し理解することができる。		
6回	BIM応用	国土地理院の地形データを取込、地形モデルを生成することができる。		
7回	特別講義①	業界で活躍する講師による課題を理解することができる。		
8回	特別講義②	業界で活躍する講師による課題から、展開するデジタルスキルを選択することができる。		
9回	特別講義③	業界で活躍する講師による課題に対し独自の視点で表現を行える。		
10回	特別講義④	業界で活躍する講師による課題に対し自身の提案をプレゼンテーションできる。		
11回	デジタル課題解決①	卒業制作において抱える課題に対し、デジタルの角度から検証できる。		
12回	デジタル課題解決②	卒業制作において抱える課題に対し、デジタルを用いてスタディを重ねることができる。		
13回	デジタル課題解決③	卒業制作において抱える課題に対し、適切なアウトプット方法を行うことができる。		
14回	プレゼンテーションスキル応用①	卒業制作において必要なグラフィックススキルを理解しスキル向上に取り組むことができる。		
15回	プレゼンテーションスキル応用②	卒業制作の表現方法として、動画等のサイネージプレゼンテーションを制作できる。		